歌

【2年】 14画

音 カ
訓 うた・うたう

なりたち よいという意味の可を二つ重ねた哥と欠との会意形声字。口を大きく開いてよい声を続けて出すこと、〝うたう〟ことを表した字。転じて、〝うた〟。

いみとじゅくご

▼うたう。

歌曲…声楽のために作られた曲。リート。用例シューベルトの歌曲集。

歌劇…登場人物がせりふを歌って芝居をする総合芸術。オペラ。

▼うた。節をつけて歌う言葉。

歌謡…節をつけてうたう歌。また、広く人々に歌われる歌。

例 歌謡曲

歌集…❶和歌・短歌を集めた本。❷歌曲を集めた本。

歌人…和歌をつくる人。うたよみ。

歌碑…歌をほりつけた石碑。

歌仙…非常にすぐれた歌人。

例 六歌仙

短歌…五・七・五・七・七の三十一音からなる和歌。

よみかた 歌心・歌詞・歌道・哀歌・校歌・賛歌・唱歌

款

【12画】

音 カン
訓 はねる

なりたち 古い形は欵もしくは款。役人を意味する士が神に祈り願うのが本義の字。転じて、〝欵(よろこぶ)〟の意味に用いられる。

いみとじゅくご

▼楽しみ。よしみ。

款待…喜んで親切にもてなすこと。「歓待」とも書く。

▼きざむ。しるす。

落款…書画に筆者が自筆で署名したり、雅号の印を押したりすること。また、その署名や印。

▼規約や法令などの箇条書き。

約款…契約・条約などの取り決めを箇条書きにしたもの。

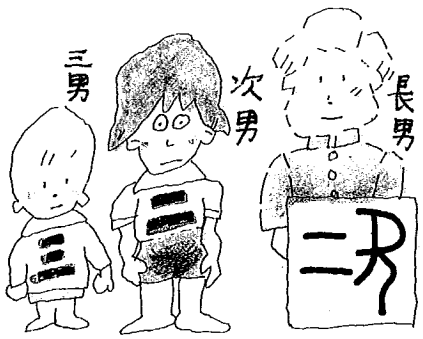
定款…社団法人・株式会社の組織や業務に関する基本的な規則を記したもの。

借款…国際間の貸借。

次

【3年】 6画

音 ジ・シ
訓 つぐ・つぎ



なりたち あくびの意味の欠と二との会意形声字。一番になれなくて、その〝つぎ〟で結構とだらけた気分でいることを表したもの。〝つぎ・二番目〟。

いみとじゅくご

▼つぎ。二番目。つぐ。

次男…二番目の息子。

次席…二番目の地位。また、その位の人。例次席判事

次善…最善の次。例次善の策。

次点…最高得点、または入賞・当選に次ぐ得点・得票。また、それを得た人。

▼順序をきめる。順序。

次第…❶順序。例式次第 ❷なりゆき。用例事の次第を話す。❸…するとすぐ。用例手紙が着き次第、お知らせします。❹だんだん。用例雨は次第に小降りになった。

席次…席・成績などの順番。

▼回数を表す。例二次試験

▼やどる所。例東海道五十三次

よみかた 次元・年次・目次

姿

【6年】 9画

音 シ
訓 すがた

なりたち 次と女との会意形声字。次は、先に立たず人に譲る意味。人に譲る女性の美しい〝すがた〟を表した字。

いみとじゅくご

▼すがた。かたち。ありさま。

姿態…すがた。からだつき。

容姿…顔つきと姿。みめかたち。例容姿端麗(顔かたちが整って美しいこと。)

姿勢…からだの構え。転じて、物事に対する態度。心構え。用例難局に厳しい姿勢で臨む。

英姿…すぐれて立派な姿。

雄姿…雄々しく立派な姿。

勇姿…勇ましい姿。

風姿…鑑賞の対象としての立派な姿。

よみかた 姿見・晴れ姿